

会議結果

会議名	第1回西尾市特別職報酬等審議会
日時	令和7年12月25日(火) 午前10時00分～午前11時45分
場所	西尾市役所53会議室
出席者	委員：齋藤種治会長 三浦眞澄職務代理者 長坂英之委員 松崎幸子委員 米津直美委員 事務局：西尾隆治総合政策部長 今井寛之人事課長 伊藤和洋人事課主任主査 小笠原良太人事課主査 吉永ひかり人事課主査
傍聴者	0人
議題	議会の議員の報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額についての審議
結果等	<p>1 会長の選出について 齋藤委員が会長に選出された。</p> <p>2 職務代理者の指名について 三浦委員が職務代理者に指名された。</p> <p>3 諒問 事前に市長から提出のあった諒問書(写)を机上に配布。それを受け、議会の議員の報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額について諒問された。</p> <p>4 特別職報酬等の資料説明 西尾市の将来人口推計や財政状況について関係課長が説明後、事務局より議会の議員の報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額について、過去の推移、人事院勧告率等の推移、近隣市及び類似団体の報酬等の状況及び前回の西尾市特別職報酬等審議会の答申について説明。</p> <p>5 特別職報酬等の審議 【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none">物価の高騰や民間企業の賃金の引き上げ傾向から引き上げのタイミングであることは理解できる。ずっと据え置きの期間が長かったが、現在の社会情勢や人事院勧告の指定職俸給表に対する勧告率の高さから、引き上げの方向性ではないか。財政状況は議論の上で重要事項であるが、考えすぎると引き上げはできない。人口規模を考慮するともう少し引き上げても妥当である。

- ・財政状況を考慮すると大幅な増額は困難である。
- ・人口推計や財政状況を考慮するとなかなか明るい将来展望（ビジョン）は見えないが将来に期待する気持ちをもってみたい。
- ・審議会で議論することではないが、議員定数の削減についてなかなか実行されない。
- ・以前の答申においても議員定数の削減が報酬引き上げの要件となっている。
- ・議員においては報酬の引き下げを検討しても良いのでは。

6 改定の方向性について

【意見】

- ・議員定数の削減がなかなか実行されない状況があり、前回答申でも議員定数の削減を報酬増額の要件としている。
- ・人事院勧告や社会情勢などを考えると報酬等を上げるべきタイミングであることは理解できる。
- ・市長、副市長、教育長については、財政状況等を考慮し、令和7年指定職俸給表の勧告率である2.8%の1/2である1.4%の引き上げが適当。

【結論】

総合的に判断すると議会の議員の報酬の額については「据え置き」が適当であり、市長、副市長及び教育長の給料の額については「引き上げ（1.4%）」が適当。

◆次回審議会・・・令和8年1月29日（木）午前10時30分～ 41会議室